

“ふるさとちば”のための政策推進を

# 山本よしかずアクティブリポート

## 誠 心 誠 意



### やまもとよしかず 山本義一

〒289-1116 千葉県八街市中央20-11  
TEL.043-440-7070  
FAX.043-440-7030  
HP:<http://www.yoshikazu-52.jp/>

### 9月補正予算の特徴

令和2年9月定例県議会に提案された案件は、補正予算案のほか、報告4件及びその他附帯議案の20議案の結果、報告4件及び「決算認定について」の審議した結果、全て承認・可決されました。なお、新型コロナウイルス感染症対策に引き続き、7月以降、新規感染者数が多い状況が続いており、引き続き感染症対策に万全を期するのと同時に、深刻な影響を受けた地域経済の活性化も図っていく必要があります。

このため、9月補正予算では、  
 ・感染症の長期化に備えた医療提供体制の整備  
 ・県民のみならず、また、健康な  
 ・「一緒に！」キャンペーン推進  
 ・厳しい経営状況にある中小企業等へのさらなる支援  
 ・「ちばと一緒に！」キャンペーン推進

などの取組を進めるほか、6月補正予算編成後の状況変化を踏まえ、緊急的に取り組むべき事業に必要な経費を計上しました。また、健全な財政運営に資するため、令和元年度の決算剰金の2分の1を財政調整基金への積み立てを含み、2兆1千9億7千151万9千999円を現計予算と合わせた補正後の一般会計予算規模は、2兆1千9億7千151万9千999円となりました。

### 医療機関に向けた感染症対策拡充 (PCR検査数拡大)

新型コロナウイルス感染症対策として、入院患者受入れのための空床確保、PCR検査1日100件以上を検査できる検査体制の構築、軽症者等のための宿泊施設確保、患者受入れのための空床確保等事業、医療機関向け個人防護具・消毒液の確保・配布、クラスタ発生施設等への医療従事者派遣、入院医療費等の公費負担、PCR検査体制の強化、軽症者等のための宿泊施設確保事業、生活福祉資金貸付事業推進費補助金、地域公共交通臨時支援事業

新たな生活様式の実践を進める取組を、県民のみならず、また、健康な  
 ・「一緒に！」キャンペーン推進  
 ・厳しい経営状況にある中小企業等へのさらなる支援  
 ・「ちばと一緒に！」キャンペーン推進

### 「ちばと一緒に！」キャンペーン



「ちばと一緒に！」  
まごころのチカラ

新型コロナ禍により低迷した県内経済の早期回復や新たな生活様式の実践を進める取組を、県民のみならず、また、健康な  
 ・「一緒に！」キャンペーン推進  
 ・厳しい経営状況にある中小企業等へのさらなる支援  
 ・「ちばと一緒に！」キャンペーン推進

### 中小企業再建支援金の対象 拡大など

新型コロナウイルスの影響で、売上高が前年同月比50%以上減少している中小企業等に対し、最大40万円を支援する中小企業再建支援金に、7月及び8月の売上高が前年同月比30%以上減少している中小企業等も対象とし、新たな支援金として、2兆1千9億7千151万9千999円を現計予算と合わせた補正後の一般会計予算規模は、2兆1千9億7千151万9千999円となりました。

### 9月補正予算の主な事業

※金額は千円以下切り捨て

- 【新型コロナ感染症対策】**
- 感染症患者受入れのための空床確保等事業 (186億3,000万円)
  - 患者受入れ医療機関の設備整備補助事業 (35億円)
  - 医療機関向け個人防護具・消毒液の確保・配布 (7億800万円)
  - クラスタ発生施設等への医療従事者派遣 (1,179万円)
  - 入院医療費等の公費負担 (6億3,000万円)
  - PCR検査体制の強化 (9億6,800万円)
  - 軽症者等のための宿泊施設確保事業 (36億5,100万円)
  - 生活福祉資金貸付事業推進費補助金 (86億円)
  - 地域公共交通臨時支援事業 (2億6,300万円)
- 【経済活性化との両立】**
- 「ちばと一緒に！」キャンペーン事業～まごころのチカラ～【主なもの】 (34億2,075万円)
    - ・ 観光キャンペーン事業
    - ・ 千葉の農林水産物キャンペーン
    - ・ コンサート開催事業
  - 千葉県中小企業再建支援事業 (82億円)
  - 新しい生活様式に向けた設備投資補助事業 (10億3,000万円)
  - 事業承継支援緊急対策事業 (4,500万円)
- 【防災・暮らしの安全】**
- ◆ 高齢者福祉施設整備事業補助 (2億9,632万円)
  - ◆ 水防事業 (5,800万円)
  - ◆ 土砂災害警戒対策事業 (1億1,000万円)
  - ◆ 土砂災害対策支援事業補助金 (1,000万円)
  - ◆ 県警Web会議システムの整備 (6,000万円)
- 【その他】**
- ◆ 袖ヶ浦福祉センター利用者受入等支援事業 (9,165万円)
  - ◆ 重度の強度行動障害のある方への支援体制整備事業 (271万円)
  - ◆ 千葉県就職氷河期世代支援加速化事業 (1,224万円)
  - ◆ 浜の活力再生プラン推進支援事業 (2億5,381万円)
  - ◆ 東京湾漁業総合対策事業 (534万円)
  - ◆ (仮称)千葉県総合救急災害医療センター施設整備事業 継続費 (214億3,300万円)

● 千葉県や八街市へのご意見、ご要望をお聞かせください

**山本よしかず** 県議 事務所

〒289-1116 八街市中央20-11  
TEL.043(440)7070  
FAX.043(440)7030

HPもご覧ください。… 検索 ホームページ:<http://WWW.yoshikazu-52.jp/>

# 種子生産県条例制定

主要農作物種子法は、昭和27年に、戦後の食糧増産という国家的要請を背景に、国・都道府県が主導して、主要農作物(稲、麦類、大豆)の優良な種子の生産・普及を進める必要があったとの観点から制定されました。その後、社会情勢等を踏まえ、主要農作物種子法は、平成30年4月に廃止されましたが、県は、将来にわたり主要農作物(稲、小麦、大豆及び落花生)の優良な種子を安定的に供給し、農業の振興及び農作物の安定供給に資するため、種子の生産・供給に関する基本的な取組を定める条例を制定することとした。主に主要農作物等の優良な種子の生産及び供給に関する施策を計画するに、主要農作物等の優良な種子の生産及び供給に係る事項を内容とする種子計画を策定し、種子計画に基づく主要農作物等の優良な種子の生産を行う。主要農作物の種子を生産する者が経営するほ場を、指定種子生産ほ場として指定し、当該ほ場及びほ場で生産された種子の審査を行う。その他主要農作物等の優良な種子の生産及び供給のための措置を講じます。

## 市内落花生研究室を視察

千葉県農林総合研究センター落花生研究室は、国内唯一の落花生専門の研究室で、昭和33年(1958年)に八街市に移転されました。これまで多くの品種の育成をしてまいりました。代表的な落花生といえ、千葉半立、代表カデユタカ、郷の香、粒が大きいおまさら、千葉P114号はQなつのお愛称で親しまれている落花生が主な品種になります。この他にもたくさん種があり、今も生産者の省力化や消費者の皆さんに親しまれ、定着されています。今も生産者の省力化や消費者の皆さんに親しまれ、定着されています。



千葉県農林総合研究センター落花生研究室の施設を視察する山本義一県議

先日、落花生研究室を訪ね、研究員と担当者から、改めて落花生における主な研究課題や細かい交配作業、種子生産の流れなどの説明を会議室にて受けてから、敷地内にある25アールの畑では、種が混ざらないよう品種ごとに間隔を空けることや、異品種の混合などの事態に備え、原種は専門の冷蔵庫でも保管するなどの対策をとり、品質が下がらないよう、細心の注意を払いつながることを期待しております。八街市の交通緩和信息化に向けて努力してまいります。

# 八街バイパス年度内全線開通へ

八街バイパスは、八街市街地に集中する交通を分散、誘導する延長3.2キロメートルのバイパスで、これまでに、県道千葉八街横芝線八街に地先から大木地先までの区間、1.5キロメートルが平成23年5月に供用されました。また、同道の五区地先から国道409号までの区間、1.2キロメートルが平成29年3月に供用されています。残る、500メートルの区間の開通がまたれておりますが、令和2年度内に供用される予定となりました。これによって、八街バイパスの全線開通となります。八街市の交通緩和信息化に向けて努力してまいります。



八街バイパス、残る区間内で工事の進捗状況を確認する山本義一県議  
(国道409号交差点から八街バイパス大木交差点までの間)

## コロナ禍の安全対策は

コロナ禍の安全対策の状況を拝見するため、市内の保育園を訪問させていただきました。安全対策はしっかりと行われていました。突然の訪問で先生方も、子ども達も驚いたようですが、帰る際には、子ども達も元気がよく手を振って見送ってくれました。子ども達からも感染症対策よろしくお願ひします。



八街バイパス、残る区間の現場を視察する山本義一県議